

平和でかがやく 高齢社会をめざそう



稲穂・カカシ、そして圏央道工事 (川瀬秀雄さんの作品)

目次

- 「写真」川瀬秀雄さん／
コラム「散歩道」小出晴
美さん……………①
- 「趣味の会」……………②③
料理教室／歴史教室／
こだま俳壇／予告
- 「会員紹介」奥津弘久さん
……………④
- 読書の秋／映画随想…⑤
- 全国高齢者大会報告…⑥
- 政権交代に一言／消費者
庁発足に思う……………⑦
- 戦争体験記募集／全国自
治体退職者会連絡会第12
回定期総会報告……………⑧

散*歩*道*

私は長い間、母に対し
て、「こんな女にはなりた
くない」と思ってきました
た。祖母に溺愛されて
育った私は、祖母と同じ
目線で、「何も満足にできない
母」と思っていました。

思春期になると、父に甘えて
幸せに暮らしてい
るように見える母
が腹立たしく、早
く家を出て、働い
て、誰にも甘えず
に生きたいと思っ
た。

* * *

神奈川県で就職
でき、家庭を持ち、
夢中で働き定年退
職。その間、母の
ことはほとんど心
に留めることもな
く、自分中心に過
ぎしてきました。
さすがの私も、数
年前から、「母も年
だし、このままお別
れになるのかなあ」と心に引
つかるようになりました。

* * *

ちょうどその頃の冬、元氣

母(89歳)のメッセージ

小出 晴美

だった父にガンが見つかり、本人
の判断で手術入院となりました。
4人の娘が、交代で家の母と病院
の父に付き添うことになり、思い
がけず、母と昼も2人でいる長い
時間が与えられました。

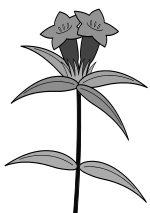
死と生の狭間の父の存在で、思
いは一気に64年をかけたのぼり、当
時のことや母の思いを聞き、
私の思いを話すことができました。

* * *

母の話はさらに遠く、自分
の父母や兄弟、生国の話も、
次々と泉が沸くようにでてき
ます。そして、それらには、
どれも戦争が色濃く影を落と
しておりました。

最後に母はきっぱりと、「決
して2度と戦争を起こしては
ならないよ。憲法9条は、何
があっても大切に守らなけれ
ばならないよ。これだけは、
もつと大きな声で叫んでおくれ
と。」

こんな母を初めて知りました。



楽しい趣味の会

趣味の会は長生きの散歩道
一緒に歩きましょう!!

フロリダ料理 に挑戦

料理教室

「フォーラム南太田」で10月3日、退職者こだま会と県職労連壮年部の楽しい料理教室が開かれました。

料理名は「シーフードガンボ」

フロリダ滞在の長い料理研究家の畑喜代司さんを講師に、「クレオール料理」に挑戦しました。クレオールとはスペイン系とフランス系の子孫



のこと。料理名は「シーフードガンボ」。セロリ・玉ねぎ・オクラをベーコンの油とオイルで炒め、トマトを加えてスープを作ります。

英語で「オクラ」、フランス語で「ガンボ」と言います。オクラは

アフリカから黒人奴隷が自分たちに

とって大切なものとして、

アメリカ

に持ち込んだものだそうです。ネバネバしているモロヘイヤもそうです。

暑いアフリカでは雑菌が多く、このネバネバが一つひとつの細胞で、人体に入って整腸作用して雑菌を無くしてくれます。畑さんから料理に

加え、歴史的背景も教わりました。日本では納豆やモズクが同じだそうです。

食卓を囲み手づくりの味を堪能

さて、スープにワタリガニ・えび・



こだま会「北海道スキー」のお誘い

期日 ▶ 2010年2月22日(月)～25日(木)

宿泊 ▶ 新富良野プリンスホテル TEL 0167(22)1111

〒076-8511北海道富良野市中郷料

費用 ▶ 58,700円(往復交通費・ホテル代・朝3食・入浴代・リフト・ゴンドラ代・国内旅行総合保険代) 同封の振込用紙で振込んで下さい。

募集人員 ▶ 30人(2名1室)

申込締切 ▶ 11月20日。こだま会事務局へFaxかTELで Fax 045(212)3178 TEL 045(212)3179

☆ホテルの宿泊者専用観光バスツアー(無料・前日までにフロントに予約)

Aコース:富良野&美瑛、アート&ホワイトロード(水)

Bコース:富良野麓郷「北の国から」メモリアルロード(火)

ピーマン・ねぎを加えて 出来上がり。参加者全員で食卓を囲み、自分たちで料理したシーフードガンボの味を堪能しました。

* * *

来年の秋は何の料理に? ぜひ皆さんも参加してみませんか。

(壮年部・岩柳良雄)

財界人が語る 憲法9条



神奈川県職員九条の会 「平和の集い」のご案内

とき ▶ 12月5日(土) 午後2時30分

～4時30分

ところ ▶ 横浜市従会館3階

J R 桜木町下車

講師 ▶ 品川正治さん

* 1924年生まれ。経済同友会終身幹事・(財)国際開発センター会長。

「こだま俳壇」(9月)

猪の畏張られし畑の隅

島田多嘉子

突き抜ける青空知らぬ夏の子等

白井保次郎

野分前虫の音高く闇深し

中村 桂子

涼風に淋しさもあり葉月尽

鈴木志げ子

野分前この一票で扉開く

鳥海 敏雄

道化師に玉の汗かき群がる子

木村 武子

椋鳥や行き先迷う八ッ場ダム

井村 友彦

せみ時雨空襲の日の夢をみる

湯川 勉

花すすき看板傾ぐ嶺の茶屋

小川 水草

草取りの匂ひまだ手に宅急便

白石 為康

炎天に「しらせ」きりしま「悪いほど

高橋 和江

千年の寺の風格蟬時雨

三井 光子

無防備に花に夢中の黒揚羽

松尾佐知子

港湾浮雲洋上はるか颯風生る

山本つばみ

歴史教室 講義

足利尊氏と楠木正成

9月14日(月)、横浜開港150周年イベント会場を見てから、「講義」に入る。出席者は12人。

今から700年前。1300年代へさかのぼる人物評価の話。

戦前(明治44年以降、大正・昭和20年頃まで)に教育を受けた人々は、「尊氏は逆賊だ」ということをたたきこまれた。一方、対する楠木正成は、「最も天皇に忠義な者」という評価が付与されたのである。

戦前の教育は、皇室中心への忠義があつたか否か、がその人物を決める基準となっていた。そこで、最後まで後醍醐帝に従っていた楠木正成や新田義貞が最高の人物とされ、途中から天皇に叛旗をひるがえした尊

氏や北条高時は不忠の逆臣とされてしまったのである。

しかし歴史は、善玉・悪玉と単純に割り切れるものではない。例えば、西郷隆盛も明治新政府に叛旗をひるがえしたから不忠の人物かという、誰もそうは言わない。つまり、そうなるに至った時代背景と状況の如何、その人物が私利私欲のためにそうしたか否かによつて解釈が変わってくる。現在では尊氏の評価ががらりと変わり、家康に匹敵するほどの魅力あると人物とされている。

「南北朝・正閏論争」——明治44年(1911)に起きた論争で「尊氏は光厳天皇の御弟を即位奉れり、之を公明天皇と申す。やがて後醍醐天皇は尊氏の奉請を納れて京都・北朝へ。吉野の朝廷を南朝という。……天下の乱はついに両皇統の御争いと

なり、戦乱57年の久しきにおよべり」とある。こうして尊氏は「逆賊」とされてしまった。

講師の熱弁、会場への往復、会員とのコミュニケーション、楽しい時間が過ごせた。歴史はくり返す。勉強すべき講義であった。(佐藤喜治)

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室(宿泊)…参加自由

テーマ 奈良・大和路めぐり
とき 11月21日(土)~22日(日) 1泊2日
コース 高野山-談山神社-長谷寺-室生寺
宿泊地 高野山・宿坊「天徳院」ほか
交通 新幹線・バス利用
参加費 ①旅行代金 31,980円
②臨時会費 5,000円
締切 10月30日(金)まで
申込先 電話&Fax045(361)0112(佐藤喜治)

●囲碁同好会…月例会(毎月第1日曜日)

とき 11月1日・12月6日
ところ 囲碁サロン「有心(うしん)」
横浜駅西口大洋ビル6階
会費 700円
申込先 こだま会事務局 045(212)3179
又は青沼慶祐 045(782)7665

●俳句教室

月例会(毎月第3木曜日午後1時~)。旅先での吟行も。初心者歓迎。楽しい句会です。
とき 11月19日 12月17日
ところ こだま会事務所
指導 山本つばみ先生(阿夫利嶺主宰)
会費 500円
申込先 こだま会事務局 045(212)3179
又は井村友彦0463(81)4493

●食文化を楽しむ会

内容 風邪予防の薬膳料理
とき 11月25日(水)11時~
ところ 横浜市健康福祉センター・調理実習室(桜木町駅前)
先生 上野多恵子さん(会員)
会費 1,800円
申込先 亀井 禎子 045(332)4061
山本 文子 03(3728)2227

秋の1泊ツアー

武田氏の旧跡・

種蒔く人・ワイン・名勝を!

日時 11月10日(火)~11日(水)
集合 小田急「本厚木駅」南口8時50分
宿泊 ホテル神の湯温泉 TEL0551(28)5000
〒407-0104 山梨県甲斐市竜地17
費用 16,000円(美術館入館料込み)
申込 10月31日まで①名前②連絡方法を明記の上、旅行代金を振り込んで下さい。
神奈川県職労連退職者こだま会(通信欄に「旅行代金1,6000円」と記入)
問合せ先 退職者こだま会事務局 045(212)3179



しかし昨年8月、再び急性心筋梗塞で病院へ。一命はとりとめました。手術できる医師が当

趣味あるなかでも、一生懸命に
なれたのが、自然のなかでプレー
するゴルフでした。
ところが心筋梗塞で倒れた8年
前、手術後に医師から、「激しい運
動を控えるように」との宣告。目
の前が真っ暗になった私ですが、
ゴルフをしたい一心から酒・タバ
コを断ち、手術前の身体に近づけ
ることができました。



『爺工房』——“きらり”と光る 作品に挑戦

奥津 弘久さん



ようです。

また、ゴルフだけではダメと思い、袋物、帯で作る財布等を作っ

ては、作品の出来栄に悦びつつあります。このごろはベストのような衣類から、カエル、巾着などの小物と作品の幅も広がりま

直でいたこと、すぐ救急車で運ばれたこと等の幸運が重なったのと、後日、医師から聞き、ひやりとしました。そのような体なので、現在は楽

しむゴルフに変わり、その結果が、良いプレーにもつながっている

した。

女房と相談し、手下げカバン、保険証入れ、巾着、財布、カエル等を作りました。その女性は大変気に入ってくださり、喜んでくれました。

それから「絵手紙」は、すでに10年位前になりますが、県職労連新聞に載

した。そんななか、私ごと『爺工房』の噂を聞きつけた女性から、依頼を受けました。それは「生前、母親が着ていた着物をこのまま捨てるのはしのびないので、何か作ってほしい。できれば普段身に付けるものを」とのこと

お気に入りの木綿のベストを着て左手にカエル、右手に財布



これからも皆様の笑顔をエネルギーに「きらり」とひかる作品づくりに挑戦していきたいと思っ
ている『爺工房』の私です。



せていただき、現在も続いています。「奥津さんの絵は粗っぽいけど、味があつて良い」ありがとう。玄関に飾らせてもらうよ」と言われた時には、とても嬉しくなります。

秋の読書

「宮部みゆき」の魅力

「宮部みゆき」に興味を持ったのは、とある文庫本の解説に「直木賞候補に上がった時、ほとんどの選考委員がその著作の奇抜さに酷評した。ただ一人、井上ひさしが高い評価をした」ことによる。

身にガソリンをかけられて焼き殺される事件。マサの飼主＝探偵事務所

『パーフェクト・ブルー』

(東京創文社・1989年)

漱石の猫ではないが、元警察犬・マサの目を通して語られる推理小説。高校野球のスーパースターが全



長、その調査員、落ちこぼれ少年が真相解明に挑む。一方、筋肉増力剤を開発する製薬会社がうごめく。長編デビュー作で、とても爽やかな作品。

『孤宿の人』上・下

(新人物往来社2005年)

西国の小藩が、幕府からある人物を預かることを強制される。驚いた藩、そして藩政を巡る対立。海と陸の住民の対立、そのさなかの殺人事件。浪速商人の落し子の少女が、西国まで流れて来て、藩医に拾われ、謎の人物と奇想天外な交流、狂言廻しをする長編の推理時代小説。明る

く終わるのが良い。

* * *

著者・宮部みゆきは、高校卒業後、法律事務所に勤めながら、小説作りの修業をはじめ、20代後半に推理小説の新人として登場。『理由』で直木賞をとり、『火車』で山本周五郎賞のほか数々の受賞をしている。

その著作では、登場する人物像が巧みに書き分けられている。そしてまた、子どもの姿、動きが軽やかで鮮やか。魅力がある。「周平」のファンの多くが男性なのに比して、女性の多くは「みゆき」ファンであるようだ。(木村武子)

戦争と映画

映画随想 ①

昭和12年7月7日、中国の北京城外、蘆溝橋で日本軍と中国軍の小さな衝突があった。深夜の演習中に突発した発砲事件は、ついに日本と中国との戦争へと発展した。日本にとっては昭和20年8月15日の無条件降伏までの8年間にわたる全面戦争となろうとは、誰しも思わなかった。

やがて映画人にも入営する者が出始める。田坂具隆がこの映画をつくるきっかけ

けは、小津安二郎の入営だと語る。「あの人が営門に入って行く後ろ姿を見ていると何ともいえない。それで一つやろうと思った。それは何も日本が戦争をしているのを意味づけるということじゃないのですよ」

『五人の斥候兵』

(昭和13年)

監督：田坂具隆

『五人の斥候兵』は、最前線に駐屯する部隊が、対峙する前面の敵情を視察するため、斥

候として選ばれた5人の兵士の活躍を描く。当時実際にあった事件で、それを報道する新聞記事からヒントを得た。部隊全体ではなく、5人だけの戦闘に焦点をあてたことで、少人数の銃撃戦と偵察、帰隊のスリルが上手くまとまって迫力がある。

この作品は日本の戦争映画の基とされ、戦時中に陸続して制作された戦争映画に影響を与えていることは周知のことだが、戦意高揚や忠君愛国の気配のない本作は、名画との評価を得ている。それは何より戦場という極限状態の中で人間たちがい

かに生きようとしたかを、正面から描いたことに尽きよう。

□ ■ □

戦後になるが、田坂具隆は語る。「単なる戦争映画ではなく、命が大切であることを描こうとした」「むしろ人間尊重の映画で、一寸間違えれば反戦映画にもなりかねない」と続け、「今にしては、すべては弁解ともとられてしまうであろうが」と結んでいる。

田坂具隆はこの作品のあと、戦争映画の最高傑作『土と兵隊』を作ることとなる。(田中一男)



別府市内で開かれた第23回日本高齢者大会

第23回日本高齢者大会in大分

「平和で輝きのある高齢社会をめざそう」と9月14日から15日、大分県別府市で第23回日本高齢者大会が開かれ、「こだま会」からは加藤利秋さん、鳥居伸太郎さんが参加し、議論と交流を深めました。2人からのレポートをお届けします。

医療・福祉制度の抜本的な見直しへ

加藤 利秋

記念講演の鋭い指摘に教えられる

9月14、15日の両日、九州別府市で開催された第23回日本高齢者大会に参加して、今回ほど記念講演の鋭い指摘に教えられたことはありませんでした。

鹿児島大学法科大学院の伊藤周平教授は、「介護保険10年目の検証と高齢者運動の課題」とした講演のなかで、次の点を提起されました。

「介護保険法施行10年で、介護労働者の労働条件は悪化する一方で、特養ホームなどの公的施設の増設は抑制され、要介護者の行き場がなくなっている」と、その実態を指摘されました。

『高齢者・障害者福祉サービスマス法』(仮)の制定を

そして私見であるがと前置きされ、「いまこそ『福祉』の名に値しない介護保険法と障害者自立支援法は廃止し、訪問看護や老人保健施設の給付などは医療保険給付に戻すべきだ」。また「高齢者・障害者福祉は全額公費負担とする『高齢者・障害者福祉サービスマス法』を制定し、施設の増設計画を立てるべきだ」と提起されました。

私はこの提起について、62年ぶり

に選挙によって第一党が入れ替わる政権交代という事態のなかで、医療・福祉制度の部分見直しでない抜本的

後期高齢者医療制度の中止・撤回へ運動を強めよう

鳥居 伸太郎

独りぼっちな

高齢者をなくそう

日本高齢者大会は「町から村からの連帯で、独りぼっちな高齢者をなくそう」を合言葉にスタートしました。

2年前に横浜で開催された第21回大会では、「後期高齢者医療制度の中止・撤回」を決議し、全国各地で反対集会や署名活動を繰り広げてきました。先の国会の参議院で野党4党共同提案の「後期高齢者医療制度廃止法案」が可決されるなど、自公政権を追い詰めた結果、今回の選挙でついに政権交代に至りました。

今年の大会では、新しい政治体制の下でさっぱりとこの悪法を廃止させるまで運動を強めることを確認しました。

国民要求を

実現する政府へ

大会では、医療制度の改悪や10年で4回の制度手直しが行われた介護

な見直しを、運動を通して求めていかなければならない、と強く感じました。

保険制度の導入、障害者自立支援法の導入、少子高齢化も反映して自殺、心中、孤独死から診療・介護の抑制など、高齢者の生活が深刻の度合いを増している各地の実態が報告。

「保険制度で窓口負担はおかしい」「ヨーロッパでは社会保障の10割給付はあたりまえ」「国民の要求を実現する政府をつくらう」の声が次々と訴えられました。

6つの特別決議を採択

また、①後期高齢者医療制度廃止を実現し安心の医療を ②高齢者の働く権利を守ろう ③核兵器のない平和で公正な社会を ④安心して老後を送れる介護保険制度の実現を ⑤消費税によらない『最低保障年金制度』の創設を ⑥特養ホームの待機者解消へ「緊急の基盤整備年次計画」の策定を、という6つの特別決議を採択し、来年は茨城県水戸市で開催することを決めて終了しました。

政権交代に一言

政治シナリオを書くのは有権者

小泉劇場の1幕目

「自民党をぶっ壊しても」という意気込み、郵政民営化は改革の本丸と言いつつ、党内反対派を抵抗勢力と位置づけるパフォーマンス。

「何かやってくれそう」と小泉自・公政権に衆議院議員の3分の2以上の議席を与えた。

小泉劇場の2幕目

国民の期待していた改革がされず、痛みのみ押しつけられたので、ついでに行われた参議院選挙では、野党に過半数を与えて小泉自・公政権

輸入冷凍餃子事件、こんにゃくゼリー事故、食品偽装表示、ガス湯沸し器、エレベーター事故、悪質商法、投資家詐欺商法などの被害が多発し、この解決には、①これまでのような縦割り行政では有効な対応措置がとれないこと、②製造物責任法(P L法)、消費者契約法など、法律は現実の消費者被害を後追い制定され、消費者の利益は、事業者の行為を規制するなかで、その反射的利益として考えられてきました。

しかし、これでは消費者被害を未



大分県の由布岳 (鳥居伸太郎さん撮影)

にブレーキをかけた。自・公は政権のトライ回しで人気回復を図ったが、選挙結果は、政権からの退場となった。

然・拡大防止もできないことが誰の目にも明らかにになりました。

産業重視・優先から消費者・生活者重視の社会への転換をめざし、生活安全の司令塔として消費者行政を一元化し、消費者目線にたった組

消費者庁の発足に思う

不断の監視活動・運動が必要

本山 文子

織が「消費者庁」です。「消費者委員会」は独立した第三者機関として、消費者行政全般の監視機能を持つ全く新しい行政組織です。両者は連携して「消費者被害の情報の一元化」「地方消費者行政の推

小沢劇場が開幕

そして政権交代。鳩山民・社・国連立政権が誕生した。政権交代で新聞の見出しが面白くなったと思う。マニフェストにかかげる公約、脱官僚依存に向けて国家戦略室設置、「政治家・官僚・業界のしがらみ」からの解放、温室効果ガスの削減25%宣言、核密約の問題の調査などが紙面を賑やかにしている。

政治シナリオを書いているのは有権者だ。この続きはどう展開するのだろうか。(米山東伊)

暮らしをどん底に落とされた有権者の怒り

衆議院選挙での自民・公明の大敗、

民主党の大勝は、国民が選挙公約を判断して投票したというよりも、54年続いた自民党政治が国民の願いを無視し、大企業・財産家擁護を続け、格差拡大・社会保障改悪・無法な首切り・失業拡大など、国民の暮らしをどん底に落としたことに対する有権者のうっ積した怒りだと思ふ。

民主党も自民党も選挙公約にはきわだった差はなく、民主党は選挙期間中の公約を度々変更、今回の民主党の立候補者で、憲法改正論者62%、消費税引上げ者25%もいるなかで、思い切った政治を転換させ、「世直し」が空約束でないことを具体的に示さないと、来年の参議院選挙、4年後の衆議院選挙で自民党・公明党の轍を踏むと思ふ。(川井弘次)

織が「消費者被害の防止・被害救済制度の導入」などの役割が課せられています。

特に要は、現場を担う地方消費者行政ですが、この間、自治体の地方消費者行政の予算は大幅に削減され、十分な相談体制がとれないなど機能不全が明らかになり、「地方消費者行政活性化交付金」など、国の税制支援策が提起されています。

これら施策の実効性を求めて、不断の監視活動と運動が、私たちには必要になっていきます。

生活や老後を前向きに送ろう

頼もしかった地域のとりくみ

田口 清

自治労連第31回定期大会の事前会議として、全国自治体退職者会連絡会第12回定期総会が9月5日(土)、東京で開かれました。

総選挙のため総会が延期され、急遽、会場が東京に変更されたにもかかわらず、全国から会場に溢れる参加者があり、出席者は79人のことでした。

城田会長と本部の挨拶、情勢報告の後、経過報告・決算報告・監査報告。新年度運動方針と予算案が提案され、それぞれ承認されました。

参加者の発言から

◎愛知：1973年から10年間、医療費が無料だったとは知らない世代が多くなっている。外国人が受



全国自治体退職者会連絡会第12回定期総会

診しても医療費や薬代が高く嘆いている。現役時代の7割が年金額といわれたが、実際は5割だ。国民年金の改善を中心として、すべての年金の改善を図りたい。

◎京都：年金改善のために国会行動

「戦争中の体験記」募集中

- 原稿締切日：2009年11月30日(必着)
- 字数：400字 詰め原稿用紙5枚程度。
- 書くのは苦手だけど話すことはできるという方は事務局にご連絡を。
- 戦争体験にかかる詩、短歌、俳句等でもOK。
- 戦争中の写真等がありましたら、思い出を添えてお寄せ下さい。
- 連絡先：045(212)3179 県職労連本部内こだま会事務局(毎週火曜日)。
- *メールで原稿を頂ける方は下記アドレスへ。
kodama@kensyokurou.ne.jp

を年3・4回やってきた。こういうことも現役組合員に見える。組合員の先頭に立ってやる運動も大事だ。

◎大阪：「赤紙を配らない」、これが自治体労働者の原点だ。この原点に基づいて運動していく必要がある。

◎東京：19の支部で運動している、今後、この組織をいっそう拡大していくことが求められている。「都退協」として支部間の交流を深めている。

◎高地：高知県の候補者として活動してきたが、まだまだ勝てない。こういう時代でも保守が強い。

◎神奈川：お手元に「こだま会」が発行している会報をごらんください。憲法改悪反対のとりくみを一層強くしていきたいと思っている。

* * *

私自身初めての参加で、どういう活動が報告されるのかなと思いましたが、生活や老後を前向きに送るために、それぞれの各地域で頑張っており、それぞれの地域で頑張っており、頼もしく感じました。

訂正とお詫び

前号(85号)3面「謹んでご冥福をお祈り申し上げます」のなかの、

田辺典雄様の年齢「67歳」を「79歳」に訂正。同8面「せいかつ短信」野澤秀子さんの記事の「84歳の祖母の介護：」を「84歳の叔母の介護：」に訂正し、お詫び申しあげます。

編集 後記

◆先日、数十年ぶりに「栗拾い」を体験した。可愛いログハウスと大きな栗の木の下でランチをご馳走になり、秋を満喫。ときおり「ドサツ」とイガが落ちてきて、ひやひやドキドキ◆そういえば8月30日もドキドキした。「政権交代」が「本当」になった。マスコミの予想は見事に当たった◆新政権はいま、「国民の生活が第一」と矢継ぎ早に政策を打ち出している。「後期高齢者医療制度の廃止」もそのひとつ◆これを確実なものにするためには、これまで以上に世論の力が必要と思う。力を抜いたら痛いイガに当たってしまうかも。